

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日： 2013年 2月 18日

<p>テーマ名</p>	<p>リーンスタートアップによるITCビジネスへの考察</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>ITC大阪城</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p><a href="http://itc-osakajo.jp/xoops/modules/d3downloads/index.php?page=singlefile&amp;cid=8&amp;lid=1">://itc-osakajo.jp/xoops/modules/d3downloads/index.php?page=singlefile&amp;cid=8&amp;lid=1</a></p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名) 新保 康夫 電話番号:050-7103-1507 e-mail: info@shimchan.com</p>	<p>(担当者氏名) 新保 康夫 電話番号:050-7103-1507 e-mail: info@shimchan.com</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>本テーマ研究・調査活動は、以下の課題で実施した。                  (1)リーンスタートアップが話題となっているが、リーンスタートアップとは何か。                  (2)ITコーディネータ自身のビジネスには関係あるのか。                  (3)ITコーディネータ自身がリーンスタートアップができないのか。                  具体的には、「リーンスタートアップでITコーディネータがビジネスを行うためには」を目的に以下の項目について検討した。                  (1)ITコーディネータがリーンスタートアップに書かれているアジャイル開発を理解できるものを策定する。                  (2)リーンスタートアップの良い点や注意点を考察する。                  (3)ITコーディネータ自身のビジネスにおいても適用できるのか。                  もし、適用するとしたら何を注意しなければならないかを考察する。                  これらの結果を踏まえ、報告書に以下の内容をまとめた。                  (1)ITC-Bizに掲載しているAgile研修キットからリーンスタートアップに出てくる手法についてのITC向けの簡単な説明を掲載。                  (2)リーンスタートアップについては、本の要約はせず、メンバそれぞれに評価する箇所や注意する箇所を考察し、章単位に掲載。                  (3)ITコーディネータ自身のビジネスについての適用可否や留意点については、ブレインストーミングにより意見を出し、まとめたものを掲載。  <b>【考察】</b>                  全体として、リーンスタートアップは非常に魅力的な方法である。                  しかし、単純に誰でもすぐに実施できるものではないと考える。                  ITCビジネスとしても活用は可能だが、注意点も多い。                  リーンスタートアップの書籍1冊だけを読んだだけでは、実践は難しい。                  とは言え、ビジネスの変化が当たり前の不確実な世の中において、リーンスタートアップの選択肢を持つことは、強みとなるであろう。</p>	
<p>成果物</p>	<p>「リーンスタートアップによるITCビジネスへの考察」報告書 3月18日報告会を開催予定。</p>	

\* 青字は事務局で記入します。

事務局受付日

2013/3/12

案件番号

S12005